

# 地元学から 地域づくりへ

冬部地区には、冬部、市内、名前端の三つの自治会（七集落）があります。その自治会が学校統合を機に手を携え、「冬部の里」を活性化させるために取り組んでいる事例を紹介します。



サロン「集冬部」はだれもが気軽に集まれる交流の場。12月には田野地区からも訪れ、地域づくりの話題で盛り上がりました。

平成十七年三月、百二十七年の長い歴史の幕を閉じた冬部小学校。さまざまな思い出が詰まったその旧校舎の一角がサロンとして生まれ変わり、毎月第二土曜日の夜、地域の人たちに活用されています。

以前は理科室だったという部屋に入ると、学校の戸棚を再利用した広いカウンターがあり、真ん中にはかつて校長室に備え付けられていたという小さく丸い石炭ストーブが置かれています。ガラス窓には障子を取り付け、壁面は格子状の木製ラティスで装飾するなど、ずっといるとそこが校舎であったことを忘れてしまいうような心地よい空間です。サロンの名前は「集冬部」。ストーブを囲みながら、冬部の人たち

## 思い出の教室がサロンに

が集まる場所にしたいとの思いから名付けられました。冬部の里づくり活動の中で、「冬部サロンチーム」は、リーダーの滝又重美さん（46歳・名前端）をはじめ七人のメンバーがいます。村杉正志さん（53歳・境の沢）は「もう一度、この学校に明かりをとりたい。ただ、その思いから始まった」と地域にとって大きな存在であった学校への思いを語ります。自己負担をしながらも、部屋の改造を手掛けた上村明さん（40歳・市内）。外平廣志さん（49歳・田屋）は「この地域を何とか盛り上げた。みんなの気持が一つになって、このサロンが出来上がった」と話します。言いたいことを言い合える、結束の固さを感じます。



サロンチーム主催の収穫祭で地域の人たちと交流しながらそば打ちを習う岩手大学の学生

「地域の人に限らず、だれもがサロンに気軽に集まれるような場所にしたい。そのためには、泊まれる場所やお風呂を作りたいですね。いろいろな人と話すると、そこから地域づくりのヒントも生まれてきます。やるからには、最後までやり遂げたい」とリーダーの滝又さんは、仲間とともによりよい地域づくりを模索します。



ストーブを囲み、地域づくりの夢を語り合う人たち。第二土曜日に参加したい方は、滝又さんまでご連絡を！



## ◎冬部の里づくり

「冬部の里づくり」の契機となったのは、平成12年4月の冬部中学校の統合に始まりました。

統合に際し、町に提出された地域の要望は、主に施設整備に関する内容でした。その後設立された冬部地域振興協議会は、町からの提案もあり、住民主体の地域づくりに向けて地域資源を活用するために地域調査（地元学）を行うことを決めました。そして、岩手大学の協力を得て、平成14年から「冬部の里づくり」がスタートしたのです。

## 「へっちょこ茶屋」の活動



久慈の市日に向けて、仕込み作業をする「茶屋チーム」

「へっちょこ茶屋」の活動は、今年で丸三年を迎えました。里づくりでお世話になった岩手大学の広田先生から「大学祭で度胸試しをしてみないか」と誘われ、遊び心で参加したのがきっかけでした。主な活動は、平庭高原のつつじ祭りやくずまき高原牧場まつり、月二回の平庭市への出店です。今年も、久慈市や盛岡市にも出掛け、チームなどを入れたオリジナルの「冬部焼き」や田楽もちなどを販売しました。味の良さと明るい雰囲気の人気です。町のやる気まんまんコミュニティ

ティ事業の助成を受け、閉校した冬部小学校の校長室と職員室を厨房兼調理室に改造し、中古の冷蔵庫やシンクなどの設備をそろえました。「茶屋チーム」の会員は現在十九人。一人一百万円の出資金と、里づくり委員会から五百万円の助成を受けて活動しています。リーダーの南坂スガ子さん（58歳・市内）は「お客さんとの会話の楽しさと仲間とのコミュニケーションの出会いも楽しみの一つ。地域づくりでお世話になった人たちにも恩返ししたいので、まだまだやめられないね」と笑います。

## こんなことから始めました 冬部の里づくり

### 活動1年目（平成14年）

### 地域の宝を見つめる

#### 地域資源の再発見（地元学）

- ▶みんなで歩こう会（地区の「お宝」を歩いて探し、お宝カードを作成2回）
- ▶お宝マップを作る会▶昔話を聞く会
- ▶実践テーマを考える会（2回）▶冬部の里づくり通信の発行（3回）

#### 里づくり構想を練る

- ▶コミュニティの活性化（地域の核となる冬部サロンの開設、冬部の庭づくり）
- ▶交流の拡大（冬部ツアーや出前市の開催、ふるさと会）

### 活動2年目（平成15年）

### 6つの活動を展開

- ▶七滝周辺の環境整備（植樹、バッテリーづくりなど）▶冬部中学校同窓会（自然散策&ミニコンサート）▶熊野神社周辺の環境整備（旧毛頭沢分校の補修）▶マラ井戸周辺の環境整備（案内板の作製と設置、冬部児童館の環境整備、ゲートボール場フェンス整備）▶へっちょこ茶屋▶体感マップ&ガイドづくり

### 活動3年目（平成16年）

### 組織体制の見直し

冬部地域振興協議会の役員改選期を迎え、里づくり委員会の組織体制の見直しが行われ、5つのチーム編成で活動することになった。

- ①七滝チーム ②冷泉チーム ③冬部サロンチーム ④茶屋チーム ⑤環境整備チーム

#### 主な活動内容

- ▶手作り案内板の設置、沢・農道などの清掃活動▶農村環境保全調査（岩大）▶先進地視察▶へっちょこ茶屋の出店

### 活動4年目以降（平成17年～）

### チームごとに活動

- チームごとに独自の活動を実施
- ▶冷泉チーム…地域内を対象に冷泉の宅配を毎週日曜日に実施▶環境整備チーム…旧校舎の環境整備